

## 安全データシート

作成日：2014 年 10 月 23 日  
改訂日：2024 年 04 月 08 日

1. 製品及び会社情報

製品名：床洗いウォッシャーW

会社名：鈴木油脂工業株式会社  
住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄 1-8-23  
電話番号：06-6326-1118  
FAX 番号：06-6326-0181  
緊急連絡先：化成品事業部  
電話番号：06-6326-1118  
推奨用途及び使用上の制限：工作機械の洗浄

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【健康に対する有害性】

|                  |      |
|------------------|------|
| 金属腐食性物質          | 区分 1 |
| 皮膚腐食性／刺激性        | 区分 1 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分 1 |
| 皮膚感作性            | 区分 1 |
| 生殖毒性             | 区分 2 |

【環境に対する有害性】

|                |      |
|----------------|------|
| 水性環境有害性 短期（急性） | 区分 3 |
|----------------|------|

※記載のない危険有害性は、区分に該当しない

【絵表示又はシンボル】



注意喚起  
危険有害情報

危険

金属腐食のおそれ  
重篤な皮膚の薬傷／眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
水生生物に有害

注意書き  
【安全対策】

他の容器に移し替えないこと。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
保護手袋／衣類及び保護眼鏡／保護面を着用すること。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
使用前に取扱説明書を入手し、読み、従うこと。  
環境への放出を避けること。

【応急措置】

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。  
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。すぐに

水で数分間洗うこと。多量の水と石鹼で洗うこと。汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。すぐに救急の医療処置を受けること。  
眼に入った場合：すぐに水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医療処置を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。

【保管】

容器を施錠して涼しいところで保管すること。  
耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県・市町村の規則に従って廃棄するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

| 成分名               | CAS No,   | 含有量 (%) | 化学式              | 官報公示整理番号 |       |
|-------------------|-----------|---------|------------------|----------|-------|
|                   |           |         |                  | (化審法)    | (安衛法) |
| アルコール系溶剤          | —         | —       | —                | —        | —     |
| 非イオン系界面活性剤        | —         | —       | —                | —        | —     |
| 高級アルコール系陰イオン界面活性剤 | —         | —       | —                | —        | —     |
| アルカリ剤             | —         | —       | —                | —        | —     |
| 水酸化カリウム           | 1310-58-3 | 2～5     | KOH              | 1-369    | 公表    |
| 防錆剤               | —         | —       | —                | —        | —     |
| 染料                | —         | —       | —                | —        | —     |
| 精製水               | —         | —       | H <sub>2</sub> O | —        | —     |

注意：上記記載の—は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをする事。  
皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。  
飲み込んだ場合：多量の水又は牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。  
応急措置をする者の保護：特に必要としない。

5. 火災時の措置

消火方法：周囲の火災に適応した消火方法を取ること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。  
環境に対する注意事項：流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起こさないよう措置を講じること。  
封じ込め及び浄化方法・機材：こぼれたものはウエス等に吸収させるか、極力かき集めて密閉容器に回収する。  
二次災害の防止策：特に必要としない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い  
取り扱い技術的対策：適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。

局所排気・全体換気：局所排気、全体換気を行う。

安全な取扱い上の注意事項：

皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいない。

取扱い後はよく手を洗う。

アルカリ性なので酸性の製品との接触を避ける。

保管

保管条件：

容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

| 成分名               | 管理濃度<br>(安衛法) | 許容濃度                    |                |                    |
|-------------------|---------------|-------------------------|----------------|--------------------|
|                   |               | 日本産衛学会                  | ACGIH(TLV-TWA) | ACGIH(TLV-STEL)    |
| アルコール系溶剤          | —             | —                       | —              | —                  |
| 非イオン系界面活性剤        | —             | —                       | —              | —                  |
| 高級アルコール系陰イオン界面活性剤 | —             | —                       | —              | —                  |
| アルカリ剤             | —             | —                       | —              | —                  |
| 水酸化カリウム           | —             | 2mg/m <sup>3</sup> (最大) | —              | 2mg/m <sup>3</sup> |
| 防錆剤               | —             | —                       | —              | —                  |
| 染料                | —             | —                       | —              | —                  |

注意：上記記載の—は、設定されていないことを示す。

設備対策：

特に必要としない。

呼吸器の保護具：

適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具：

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具：

適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策：

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状・色など：

青色透明液体

臭い：

かすかなエーテル臭

pH：

12～14

沸点：

データなし。

融点：

データなし。

引火点：

データなし。

発火点：

データなし。

爆発限界 上限

データなし。

下限

データなし。

蒸気圧：

データなし。

相対蒸気密度（空気=1）：

データなし。

密度：

1.0(20℃)

溶解性：

水に溶解。

オクタノール／水分配係数：

データなし。

分解温度：

データなし。

臭いのしき値：

データなし。

蒸発速度：

データなし。

燃焼性：

データなし。

粘度：

データなし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性：

通常の使用条件で安定。

反応性：

自己反応性なし。

避けるべき条件：

データなし。

避けるべき材料：

データなし。

危険有害分解生成物：

データなし。

## 11. 有害性情報

急性毒性：

|                       |        |                               |
|-----------------------|--------|-------------------------------|
| グリコールエーテル系溶剤          | 経口 マウス | 5,830mg/kg                    |
|                       | 経皮 マウス | >2,000mg/kg                   |
| ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル | 経口 ラット | LD <sub>50</sub> 3.000mg//kg  |
| 高級アルコール系陰イオン界面活性剤     | 経口 ラット | LD <sub>50</sub> 2,5000mg//kg |
| 水酸化カリウム               | 経口 ラット | LD <sub>50</sub> 284mg//kg    |
| 皮膚腐食性・刺激性：            | データなし  |                               |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性：       | データなし  |                               |

## 1 2. 境影響情報

## 魚毒性：

グリコールエーテル系溶剤 TLm 値 7,400ppm(ヒメダカ/48h)

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル

TLm 値 6～8mg/L(ヒメダカ/48h)

## 生態毒性：

アルカリ剤

LC<sub>0</sub> 750mg/L(Goldorfen/48h)

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装材料：

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。

## 1 4. 輸送上の注意

## 国際輸送分類

国連番号： 3267

国連分類： 8

容器等級： III

## 国内規制

陸上輸送： 消防法の規定に従う。

海上輸送： 船舶安全法に従う。

航空輸送： 航空法の規定に従う。

## 1 5. 適応法令

## 労働安全衛生法：

水酸化カリウム

第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物質

第 594 条の 2 皮膚等障害化学物質等

施行規則第 326 条 腐食性液体

## PRTR 法：

非該当

## 消防法：

非該当

## 毒物及び劇物取締法：

非該当

## 船舶安全法：

水酸化カリウム

腐食性物質類

## 航空法：

水酸化カリウム

腐食性物質

## 1 6. その他の情報

## 責任の限定について

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。